



明園

学校だより 第12号

令和2年3月25日 発行

札幌市立明園中学校

<http://www.meien-j.sapporo-c.ed.jp>

今、この一瞬を大切にすることの難しさ

校長 菊池 浩樹

新型コロナウイルス感染症予防のために、3月は一斉に休校となり、家庭での生活を余儀なくされ、多くの生徒、保護者の方はストレスを抱えながら過ごしたのではないのでしょうか。本校スローガン「安心・安全・居場所」の「安全・安心」を得るためとはいえ、本当に非常事態と言っていると思います。その中でも、学校という場所が生徒の皆さんの「居場所」となり得なかったことは、「心苦しい」の一言です。ぜひ、4月からは普通に学校に通い、学習、生徒会・委員会活動、行事、仲間と交流など、生徒が「当たり前のことを当たり前でできる」状態になることを願い、この春休みは進級に向けて、しっかりと準備を進めてください。

さて、今年度も1年を終えました。この休校は想定外でしたが、この1年間を振り返り、生徒の皆さんは一生懸命に学校生活を送っていました。

学習については、どの学年、学級においても落ち着いた状態で授業に臨んでいました。

生徒会・委員会活動については、本部役員、委員長を中心に各委員会の活動が充実してきています。

行事では、学校祭、合唱コンクール、体育大会といった全校生徒で行う行事への熱心な取組と盛り上がりが見られました。また、学年による校外学習、宿泊学習、2年生の職業体験などにおいても生徒の活躍ぶりは見事でした。

もちろん日常の生活においても、仲間をお互いに思いやりながら、安全・安心、そして自分たちの居場所づくりに励んでいました。

そのような中、この1か月の休校を経験して、改めて気付いたことがあります。それは我々教職員にとって生徒が学校にいるのが当然で当たり前ではないということ、そして、いかに我々教職員にとって生徒が大切な存在なのか、ということです。

ところで、生徒の皆さんはどうでしょうか？自分が行く場所、居場所のあることの大切さを感じていませんか？たわいもない、くだらない仲間との会話、先生方とのふれあい、みんなと一緒に勉強する楽しさ、そして、時には仲間との言い合いやケンカ、どれも学校に通うからできること、ではないでしょうか。

今この一瞬を大切に過ごすことが、今回の休校により、いかに難しいことであったか、実感しています。今この瞬間にも中学校に通う時間はどんどん減っています。だからこそ、1年生は2年生になった自分、2年生は3年生、最上級生になった自分、それぞれ進級後の自分をイメージし、春休み中に次の1年をどのように過ごすか、目標を決めることです。そして、ぜひその一瞬、1分1秒を大切に、今後の学校生活を過ごしてください。

保護者の皆さま、この1年間本校の教育活動を温かく見守っていただき、本当に感謝いたします。この1か月学校が休校となり家庭での生活を余儀なくされましたが、このような時期だからこそ、生徒や保護者、地域の方々の温かさを実感しています。今後もぜひ本校の教育に温かい支援をお願いします。

この3月で転勤となります。明園中学校の2年間は大変充実したものとなりました。それもひとえに、地域、保護者の方に温かく本校を支えていただき、また、生徒一人一人が魅力を持ち、精一杯学校生活を送っているからであると思っています。本当にありがとうございました。

転勤(離任)・ご退職される方々

この度、7人の教職員が明園中学校を去られることになりました。

- 菊池 浩樹 校長 →東栄中学校校長へ
酒井 亜希 教諭(国語科) →栄南中学校へ
菊地 利浩 教諭(数学科) →栄南中学校へ
吉田 俊介 教諭(英語科) →北栄中学校へ
岡野 雅子 校務助手 →退職
大槻 勇太 スクールカウンセラー →礼苗北中学校、太平中学校へ
松井 裕治 学校司書 →札幌中学校、米里中学校へ

令和元年度

学校評価について

今年度も学校評価に際して、皆様の御協力をいただき感謝申し上げます。学校評価書については紙面の都合で紹介できませんが、本校のホームページにて公開しております。是非ともホームページにて、今年度の評価をご覧ください。明園中学校の更なる発展のため御理解と御協力をいただければ幸いです。

なお、冊子が必要な方は教頭までお問い合わせください。

酒井亜希 教諭

明園中学校の在校生、卒業生、保護者の皆様、地域の皆様、12年という長きにわたりお世話になりました。12年間を振り返りますと、明園中学校の50周年という節目をはじめとして、思い出がたくさんあることに改めて気付かされます。明園中学校で4回の卒業生を送り、それぞれの卒業生と共に充実した3年間を1年生の入学時から、一緒に過ごすことができ、大変幸せな日々でした。どの学年でも共通して言えたことは、思春期という難しい年ごろでありながらも、皆さんが素直で気持ちの温かい生徒であったということです。私は生徒の皆さんのおかげで、これまでの素敵な12年を過ごすことができました。本当にありがたく、思い出は宝となっております。また、そのような皆さんをいつも強気に応援し、学校生活の様々なシーンの中で御支援くださり、協力してくださった保護者の皆様にも心から感謝申し上げます。新型コロナウイルスの広がりにより、本来なら卒業式などの場面で直接お礼を申し上げたかったのですが、今回はこのような形になることを御容赦ください。明園中学校に関わる皆様の御健康とますますの御活躍を願い、お礼とお別れの言葉を結びます。本当にありがとうございました。

菊地利浩 教諭

8年間在籍しました。1、2年生の皆さんが5～6歳ころから明園中にお世話になっていることとなります。お兄ちゃんやお姉ちゃんが知っている、という人もいるかと思います。「明園中での毎日はとても楽しかったよ」とぜひお伝えください。先日の卒業式は合唱がなくてもとっても感動的な式でした。今年の3年生はとても立派でした。保護者の方々にも本当に見てもらいたかったです。1・2年生の皆さん、来年、再来年は負けないように素晴らしい卒業式にしてください。

吉田俊介 教諭

この度、6年間お世話になった明園中学校を去ることとなりました。6年間を通じ、温かい生徒、保護者の方たち、教職員に恵まれ、本当に素晴らしい環境で教員生活のスタートを切ることができたと感じています。

今年度の卒業式は、卒業生、教職員のみ参加という異例の形となりました。また、式に向けての気持ち作り、練習が一切できないという事態でもあり、私自身不安だらけの卒業式でした。しかし、そのような中でも、卒業生は立派な態度で式に参列し、明園中学校を巣立っていきました。この場をお借りして言わせてください。君たちは本当に素晴らしかったです。君たちが私の明園中学校生活最後の卒業生であったことを、心から誇りに思います。

この6年間で学んできたこと、受けた恩を決して忘れず、新天地で全力を発揮してくることを誓い、お別れの言葉とさせていただきます。この6年間でお世話になりましたすべての方たちにお礼を申し上げます。ありがとうございました。